



インターネット接続不要の多要素認証

多要素認証の対応が必要になったら…

オンプレ・オフラインなど、あらゆる条件に対応する多要素認証

■ 多要素認証で本人確認・ログイン強化がセキュリティのポイント

サイバー攻撃の多くはログインという共通のステップを踏むため、多要素認証によるログイン強化は特に効果が高いセキュリティ施策です。しかし、オンプレミスのPCやサーバーログイン時の多要素認証は、企業側で主体的に進める必要があり、対応に遅れが出ていることから、多要素認証の対応を急務と考えている企業・団体は多くなっています。「UserLock」はこのようなオンプレ環境に最適な多要素認証機能を備えており、あらゆる場面で導入することが可能です。

■ UserLockとクラウド経由の認証管理サービス (IDaaS) との違い

UserLockの多要素認証において、よく比較されるのが「IDaaS」と呼ばれるクラウド経由の認証管理サービスです。基本的な機能面においてカテゴリが異なる製品となるため、どちらが良い・悪いという比較はできませんが、一番大きな違いとして、IDaaSはクラウド経由となるため、インターネット接続が必須ということです。完全オンプレミスのUserLockはオフライン端末や閉域網といったインターネット接続ができない条件でも、多要素認証を適用できます。またログインする場所などで柔軟に多要素認証の有無や頻度を設定できることもUserLockのポイントです。

多要素認証とは？

IDとパスワードの認証とは別の認証方法を追加するセキュリティ強化施策です。例として、ワンタイムパスワードやUSBタイプの専用キー、スマートフォンアプリ、メール・SMS、電話、指紋などの生体認証等があります。

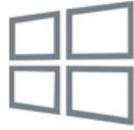
IDaaSとは？

ID・パスワードの管理や認証、また多要素認証やシングルサインオン(SSO)などの機能をクラウド経由で提供し、さまざまなサービスへのログイン管理を行う認証管理サービスです。

多要素認証に関する機能	UserLock	IDaaS
多要素認証	○	○
Active Directory連携	○	△
オフラインでの多要素認証	○	×
クローズド環境（閉域網）に対する多要素認証	○	×
ロケーションによる多要素認証の有無	○	×

UserLockの多要素認証

UserLockは既存のAD認証と連携し、柔軟な設定でユーザビリティを損なわない唯一無二の多要素認証を簡単に実現します



既存システムに多要素認証を追加

社内ネットワークなどの既存のActive Directory環境にピンポイントで簡単に後付けが可能。



さまざまな接続に多要素認証を追加

PCログインだけでなくRDP(リモートデスクトップ)接続やVPN接続にも多要素認証を追加可能。



柔軟に多要素認証の頻度を設定

ユーザーごとに多要素認証の頻度を柔軟に設定できるため、利便性やセキュリティポリシーに沿った多要素認証を実現。



オフライン環境にも多要素認証

オフラインの端末やクラウド経由のIDaaSでは不可能なインターネット接続無しでの多要素認証を実現。



ロケーションによる多要素認証の設定

ネットワーク内、ネットワーク外によりログイン時の多要素認証の有無や頻度の設定が可能。



アプリやハードウェアトークンにも対応

モバイル端末を使ったプッシュ通知※や認証アプリケーション、ハードウェアトークンのワンタイムパスワードにも対応。

※プッシュ通知を使用する場合、UserLockサーバーとモバイル端末のインターネット接続が必要となります。

参考価格(年間サブスクリプション形式)

※その他レンジの価格や詳細については別途お問い合わせください。

20ライセンス	¥137,400
50ライセンス	¥316,000
100ライセンス	¥550,000



株式会社オーシャンブリッジ

〒107-0051 東京都港区元赤坂1-5-12 住友不動産元赤坂ビル7F

<https://www.isdecisions.jp/>

userlock@oceanbridge.jp